

なごやしにしくやまだまちひら じやいけこうえん 公園内の北側にまんま
名古屋市西区山田町比良には蛇池公園があり、公園内の北側にまんま
んと水をたたえる蛇池があります。蛇池には「竜神の玉」と呼ばれる伝説
があります。

庄内川のすぐそばにある比良の里には蛇池という大きな池がありま
した。おしまという女がこの村から、名古屋のお城のそばのまんじゅう
屋へと嫁ぎます。おしまは里のおっかさんが病気になったので、月に一度
見舞いに行きました。見舞いからの帰り道に、子どもたちからたたかれ
ている蛇を助けます。その蛇が蛇池の主でした。蛇を助けた翌年、おし
まは元気な男の子を産みますが、おしまは急に亡くなります。赤ん坊は
お乳をほしがって泣いてばかり。困っていたところ、若い女が現れ世話
をすることになりました。赤ん坊が泣くと七色に光る玉をなめさせ、風邪
をひいたりけがをしても玉をなめると治ってしまいます。三年たつと女
は手紙をおいていなくなりました。手紙にはおしまが助けた蛇池の主が
恩返しにやってきたことが書いてありました。それから毎年二月七日に、
蛇池の主が好きだったおこわいの入ったおひつを池に流すことにしまし
た。この行事は蛇池神社で四月第二週目の日曜日に、赤飯をお櫃に盛っ
て池に流す櫃流神事として現在も続いています。

このほかにも蛇池には尾張名所図会が伝える織田信長にまつわる伝説
もあります。

『名古屋むかしばなし散歩道』 加藤昭／再話 加藤昭 1994

『尾張名所図会』下巻 愛知県郷土資料刊行会／編 愛知県郷土資料刊行会 1970